

2024年度 地域デザイン学会 北海道地域部会 第7回研究会

北海道開発局では、北海道開発の経験や知識を活かした国際協力活動として、平成4年度から独立行政法人国際協力機構（JICA）と連携し、政府開発援助（ODA）の技術協力の一環として、地域開発に携わる開発途上国の行政官を対象とした研修員の受け入れを行っています。

この度、「地域デザイン学会 北海道地域部会」において、これまでの JICA 研修受入および帰国研修員の成果と、当該研修の根底となる北海道総合開発計画について報告を行う機会を得て、国際室長が基調報告およびパネルディスカッションに登壇しました。

- 開催内容：2024年度 地域デザイン学会 北海道地域部会 第7回研究会
（東海大学北海道地域研究センターとの共催）
- 開催日時：2025年（令和7年）1月25日（土）13:00～16:00
- 開催場所：かでる2・7 520 研修室（対面開催）
- テーマ：（第9期）北海道総合開発計画と地域ポテンシャルの実現
- 目的：第9期を迎えた北海道総合開発計画をてがかりとして、北海道が「地域」としてもつポテンシャルに関する知見を深め、そのポテンシャルの実現にとって必要な方向性についてディスカッションする。
- 登壇者：
 - （基調報告）「（第9期）北海道総合開発計画の概要」
国土交通省北海道開発局国際室長 大味 芳徳 氏
 - （研究発表1）「北海道の地域活性化における食と農のポテンシャル」
北海道大学客員教授 林 美香子 氏
 - （研究発表2）「北海道の観光資源としてのマンガがもつポテンシャル」
星槎道都大学美術学部准教授 竹内 美帆 氏
 - （研究発表3）「『脱炭素社会に向けたアプローチ』～下川町の事例から」
公益財団法人はまなす財団専務理事 谷 一之 氏
 - （研究発表4）「北海道総合開発計画のポテンシャルを引き出す『住民参加』を考える」
東海大学国際文化学部准教授 植田 俊 氏
 - （進行・総括）東海大学国際文化学部教授 平木 隆之 氏

■ 研究会概要

1 基調報告

当局の大味国際室長より、「（第9期）北海道総合開発計画の概要」と題し、国主導による北海道開発の歴史的経緯と、国際室が協力する ODA 事業である JICA 研修について、そして、2024 年度より開始となった第9期北海道総合開発計画とその取組内容に関して報告を行いました。

JICA 研修については、研修員から寄せられた意見や、研修員が帰国後に自国で挙げた成果の事例を多数取り上げ、研修が果たす役割について詳説しました。また、第9期北海道総合開発計画に関する取組として「ほっかいどう学」の事例を取り上げて説明しました。



基調報告（大味室長）1



基調報告（大味室長）2

2 研究発表

北海道総合開発計画でも重視される「食」「観光」「脱炭素」そして「住民参加」をテーマに、北海道のもつポテンシャルを活かしつつ、地域の課題を解決するにはどうすれば良いか、研究内容に即した論説が展開されました。

林氏からは、北海道の地域活性化のためには「農都共生（農村と都市の共生）」により、農村と都市や他分野が連携し、価値を共創することの重要性が示されました。

竹内氏は、今や日本のメインカルチャーであるマンガの文化資産・知的財産としての価値を、北海道がもつポテンシャルの中で活かすことで、観光資源としての新たな価値が創出され、対話や地域活性化につながっていくと説明しました。

谷氏からは、自身の町政経験を事例に、全地球的課題である脱炭素や SDGs にいち早く着目し、町の強みである森林資源の活用を通して「下川町らしい」持続可能な社会を目指した経緯と、最新の状況について報告がなされました。

植田氏は、第9期北海道総合開発計画に「住民参加」の視点が盛り込まれたことの重要性に言及し、事例紹介を通して、北海道のポテンシャルを高めるための可能性を指摘しました。



研究発表（竹内氏）



研究発表（植田氏）

3 パネルディスカッション

植田氏がファシリテーターを務め、登壇者一同がパネラーとなって、会場から寄せられた質問に回答しました。

人口減少に対して北海道がとるべき対策に関する疑問から、昨今話題になっている「オーバーツーリズム」に関する質問まで多岐にわたり、パネラーはそれぞれの知見を活かして見解を述べました。北海道開発局からは、第9期北海道総合開発計画でも触れている教育関係の具体例なども交え、国の開発における北海道の重要性と高いポテンシャルについて発言しました。

最後に、東海大学 平木教授より、北海道がもつポテンシャルを再確認できたこと、また、課題は多いが、解決に向けて北海道が果たせる役割は多いと総括があり、閉会となりました。

国際室では今後も、第9期北海道総合開発計画をリソースとして、より良い JICA 研修の実施を推進していきます。



東海大学 平木教授の挨拶



パネラー 大味室長、林氏



パネラー 竹内氏、谷氏